



## Firepower 1000/2100 の SNMP

この章では、Firepower 1000/2100 の SNMP を設定する方法について説明します。

- [Firepower 1000/2100 の SNMP について \(1 ページ\)](#)
- [Firepower 1000/2100 の SNMP の有効化と SNMP プロパティの設定 \(2 ページ\)](#)
- [Firepower 1000/2100 の SNMP トラップの作成 \(3 ページ\)](#)
- [Firepower 1000/2100 の SNMP ユーザーの作成 \(4 ページ\)](#)

### Firepower 1000/2100 の SNMP について

簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) は、SNMP マネージャとエージェント間の通信用メッセージフォーマットを提供する、アプリケーションレイヤプロトコルです。SNMP では、ネットワーク内のデバイスのモニタリングと管理に使用する標準フレームワークと共通言語が提供されます。

SNMP フレームワークは 3 つの部分で構成されます。

- **SNMP マネージャ** : SNMP を使用してネットワークデバイスのアクティビティを制御し、モニタリングするシステム
- **SNMP エージェント** : Firepower シャーシのデータを維持し、必要に応じてそのデータを SNMP マネージャに報告する Firepower 1000/2100 シャーシ内のソフトウェアコンポーネント。Firepower シャーシには、エージェントと一連の MIB が含まれています。SNMP エージェントを有効にし、マネージャとエージェント間のリレーションシップを作成するには、Management Center で SNMP を有効にし、設定します。
- **管理情報ベース (MIB)** : SNMP エージェント上の管理対象オブジェクトのコレクション。

Firepower 1000/2100 シャーシは、SNMPv1、SNMPv2c、および SNMPv3 をサポートします。SNMPv1 および SNMPv2c はどちらも、コミュニティベース形式のセキュリティを使用します。

# Firepower 1000/2100 の SNMP の有効化と SNMP プロパティの設定



(注) この手順は Firepower 1000/2100 にのみ該当します。

## 手順

ステップ1 [デバイス (Devices)] > [デバイス管理 (Device Management)] の順に選択します。

ステップ2 [SNMP] をクリックします。

ステップ3 次のフィールドに入力します。

名前	説明
[管理状態 (Admin State)] チェックボックス	SNMP を有効にするかまたは無効にするか。システムに SNMP サーバとの統合が含まれる場合にだけこのサービスを有効にします。
[ポート (Port)] フィールド	Firepower シャーシが SNMP ホストと通信するためのポート。デフォルトポートは変更できません。
[コミュニティ (Community)] フィールド	Firepower シャーシが SNMP ホストに送信するトラップメッセージに含まれるデフォルトの SNMP v1 または v2 コミュニティの名前、あるいは SNMP v3 のユーザー名。  1 ~ 32 文字の英数字文字列を入力します。@ (アットマーク)、\ (バックスラッシュ)、" (二重引用符)、? (疑問符) または空欄スペースは使用しないでください。デフォルトは <b>public</b> です。  [コミュニティ (Community)] フィールドがすでに設定されている場合、空白フィールドの右側のテキストは [設定: はい (Set: Yes)] となることに注意してください。[コミュニティ (Community)] フィールドに値が入力されていない場合、空白フィールドの右側のテキストは [設定: いいえ (Set: No)] となります。
[システム管理者名 (System Admin Name)] フィールド	SNMP の実装担当者の連絡先。  電子メールアドレス、名前、電話番号など、255 文字までの文字列を入力します。

名前	説明
[Location]フィールド	SNMP エージェント（サーバ）が動作するホストの場所。 最大 510 文字の英数字を入力します。

ステップ 4 [保存 (Save) ] をクリックします。

#### 次のタスク

SNMP トラップおよびユーザを作成します。

## Firepower 1000/2100 の SNMP トラップの作成



(注) この手順は Firepower 1000/2100 にのみ該当します。

#### 手順

ステップ 1 [デバイス (Devices) ] > [デバイス管理 (Device Management) ] の順に選択します。

ステップ 2 [SNMP] をクリックします。

ステップ 3 [SNMP トラップ設定 (SNMP Traps Configuration) ] 領域で、[追加 (Add) ] をクリックします。

ステップ 4 [SNMP トラップ設定 (SNMP Trap Configuration) ] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Host Name] フィールド	Firepower シャーシからのトラップを受信する SNMP ホストの ホスト名または IP アドレス。
[コミュニティ (Community) ] フィールド	Firepower シャーシがトラップを SNMP ホストに送信するとき に含める SNMP v1 または v2 のコミュニティ名または SNMP v3 のユーザー名。これは、SNMP サービスに設定されたコミュ ニティまたはユーザー名と同じである必要があります。  1 ~ 32 文字の英数字文字列を入力します。@ (アットマー ク)、\ (バックスラッシュ)、" (二重引用符)、? (疑問 符) または空欄スペースは使用しないでください。
[Port] フィールド	Firepower シャーシがトラップのために SNMP ホストと通信す るポート。  1 ~ 65535 の整数を入力します。

名前	説明
[Version] フィールド	トラップに使用される SNMP バージョンおよびモデル。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• V1</li> <li>• V2</li> <li>• V3</li> </ul>
[タイプ (Type) ] フィールド	バージョンとして [V2] または [V3] を選択した場合に、送信するトラップのタイプ。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Traps]</li> <li>• 情報</li> </ul>
[特権 (Privilege) ] フィールド	バージョンとして [V3] を選択した場合に、トラップに関連付ける権限。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [認証 (Auth) ] : 認証あり、暗号化なし</li> <li>• [認証なし (Noauth) ] : 認証なし、暗号化なし</li> <li>• [秘密 (Priv) ] : 認証あり、暗号化あり</li> </ul>

**ステップ 5** [OK] をクリックして、[SNMP トラップ設定 (SNMP Trap Configuration) ] ダイアログボックスを閉じます。

**ステップ 6** [保存 (Save) ] をクリックします。

## Firepower 1000/2100 の SNMP ユーザーの作成



(注) この手順は Firepower 1000/2100 にのみ該当します。

### 手順

**ステップ 1** [デバイス (Devices) ] > [デバイス管理 (Device Management) ] の順に選択します。

**ステップ 2** [SNMP] をクリックします。

**ステップ 3** [SNMP ユーザー設定 (SNMP Users Configuration) ] 領域で、[追加 (Add) ] をクリックします。

**ステップ 4** [SNMP ユーザ設定 (SNMP User Configuration) ] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[ユーザー名 (Username) ] フィールド	SNMP ユーザーに割り当てられるユーザー名。 32 文字までの文字または数字を入力します。名前は文字で始まる必要があります、_ (アンダースコア)、. (ピリオド)、@ (アットマーク)、- (ハイフン) も指定できます。
[認証アルゴリズム タイプ (Auth Algorithm Type) ] フィールド	許可タイプ : <b>SHA</b> 。
[AES-128 を使用 (Use AES-128) ] チェックボックス	オンにすると、このユーザに AES-128 暗号化が使用されます。 (注) SNMPv3 は DES をサポートしていません。[AES-128] ボックスをオフのままにすると、プライバシーの暗号化は行われず、設定されたプライバシーパスワードは無効になります。
[認証パスワード (Authentication Password) ] フィールド	ユーザのパスワード。
[確認 (Confirm) ] フィールド	確認のためのパスワードの再入力。
[暗号化パスワード (Encryption Password) ] フィールド	ユーザのプライバシー パスワード。
[確認 (Confirm) ] フィールド	確認のためのプライバシー パスワードの再入力。

**ステップ 5** [OK] をクリックして、[SNMP ユーザ設定 (SNMP User Configuration) ] ダイアログボックスを閉じます。

**ステップ 6** [保存 (Save) ] をクリックします。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。